

別註ニ
書目

- 一 三館従業員団結ヲ認ムルコト
 - 二 組合加入ハ各人ノ自由意思トス
 - 三 減俸及対
 - 四 公休日ハ月一回トシテ其ノ前日館主マテ届ケルヲ第一回録頁一同ニ対シ公休ヲ與フルト
 - 五 給料日ハ毎月二回十五日三十日トシテ遅引セザルコト
 - 六 清耗品一切トシテ(木ツクス)ニ対シ茶代トシテ一ヶ月全額四ヲ支給スルコト
 - 七 争議中ノ給料全額仕払フ
 - 八 争議中費用一切館主ニ於テ負担ノ(全一封金額百円)
 - 九 退職手当ノ制定本月以前ノ勤勞ハ雇入ノ日ヨリ起算シ之ヲ二分ノ一トス
 - 一〇 六ヶ月以上一ヶ年以下 現給ノ半ヶ月支給
 - 一一 一ヶ年以上二ヶ年以下 現給ノ一ヶ月支給
 - 一二 二ヶ年以上三ヶ年以下 現給ノ二ヶ月支給
 - 一三 以下一ヶ年ヲ増ス毎ニ現給一ヶ月ヲ加フ
- 此ノ賞書ハ参通ヲ作成シ勞資調停者各走通宛後日ノ為メ保存スルモノナリ

昭和七年四月二十四日

勸業 橋 館 主 齊 藤 光 雄
 復 代 表 入 向 華 水
 調 傳 傳 着 着 玉 玳 竜 三
 調 傳 傳 着 着 玉 玳 竜 三

勞秘第一三三七號
昭和七年五月四日

警視總監 大野 緑一郎

勞務理事
 勞働課長
 事務主任
 事務大臣 鈴木喜三郎殿
 社 會 局 長 官 殿

7. 5. 19
 3880

活動写真並ニ攝電並ニ島松竹箱字議解決ノ件

要旨 四月二十九日勞資會見ノ結果因滿解決セリ
 標記争議発生ニ関シテハ既報(四月二十日勞秘第一一八ニ號)
 ノ通り争議因滿ニ於テハ三館共同斗争ノ態度ヲ以テ要求書ヲ提出交渉ヲ為シツ、アリシカ其後前攝館主ノ反對ニ依リ今離交渉ヲ為シタル結果因滿解決セルノ状況左記ノ通り
 一 経営者側